

建築工事事業者に対する販路拡大支援

企業紹介

有限会社林屋材木店

- 代表者：林 和男
- 所在地：下伊那郡阿智村駒場1075-1
- 従業員数：7人
- 事業内容：住宅建築請負
- 連絡先：0265-43-2057

支援を受けて

日頃の仕事に追われてなかなか補助金等の情報を得るのが難しいですが、ちょうどタイムリーな助成金の活用について情報を得られて大変助かりました。

さらに販路拡大を図るために今後のご支援も期待しています。



林 社長

支援概要

■企業の現状・課題及び支援の経緯

相談依頼の企業は、建築工事業（総合工事業）として昭和26年に個人として創業し、平成元年に法人化している企業。社長は2代目（65歳）で専務は息子（43歳）であり、専務は一級建築士を取得していて、同所に一級建築士事務所を開業している。

企業の特徴であるレンガ積み外壁工事を得意技術としているため、得意技術としているレンガ積み外壁工事を中京圏、首都圏から広く全国に販路を拡大させることで、利益率の高い経営体質にしたいという希望を持っていて、社長が自社のホームページを熱心に運営し、積極的に営業に努めている。そのため、さらなる販路拡大に対する支援要請があった。

新築住宅市場において、現在は、低金利および消費税率引き上げ前で資金面での環境は良いものの、住宅を建てたいと考える20代後半～40代の年齢層の所得が低下しており、少子化傾向も合わせ、将来的には新築需要は減少傾向と考えられている。一方、リフォーム・リノベーション市場は、修理・修繕、バリアフリー化、省エネ、耐震性強化などの目的で、50代～60代の年齢層からの受注は、上昇傾向であることを説明。

得意技術としているレンガ積み外壁工事は、行政が推奨している断熱改修に合致するものと思われるが、ホームページ等の活用で周知する必要があることを提言した。

■実施した支援内容

顧客獲得のツールの一つと考えられる、今年度の以下の助成金制度を紹介し、内容説明を行った。

- 1 国交省住宅局「長期優良住宅化リフォーム推進事業」
- 2 長野県建設部「信州健康エコ住宅助成金」
- 3 “ “ 「信州型住宅リフォーム助成金」

長野県建設部の「信州型住宅リフォーム助成金」の申請手続きの流れ、必要書類の内容説明および申請書類入手方法、書類作成の支援を行った。

支援の結果及び今後の展開等

今回の助成金制度の紹介により、制度の存在を認識してもらうことができた。

支援の時点で既にリフォーム工事の引合があり、顧客に対し今回の支援で説明した「長野県リフォーム助成金制度」の活用をすすめることで、リフォーム工事の受注につなげることができた。

リフォーム助成金申請書作成においての迅速な支援により、助成金制度の説明からわずか12日後に、県の採択を受け、助成金を活用することができた。

支援を実施して

上席専門経営支援員 内田 希一

小規模建設業者は、日ごろの業務に追われており、行政のホームページを細部まで閲覧熟読し、営業に有利になると思われる行政制度等を把握することは困難である。

このような状況の中で、今回の支援は説明した制度をいち早く反映、顧客獲得に即つながり、助成金採択により、顧客の信頼を得ることができ、事業者にとって、非常に有効なものであったと考える。

